

H27-B-4

コア写真(72.00m~90.00m)



H27-B-4

コア写真(90.00m~108.00m)



H27-B-4

コア写真(108.00m~126.00m)



コア写真(126.00m~140.00m)



H24-D1-5

余白

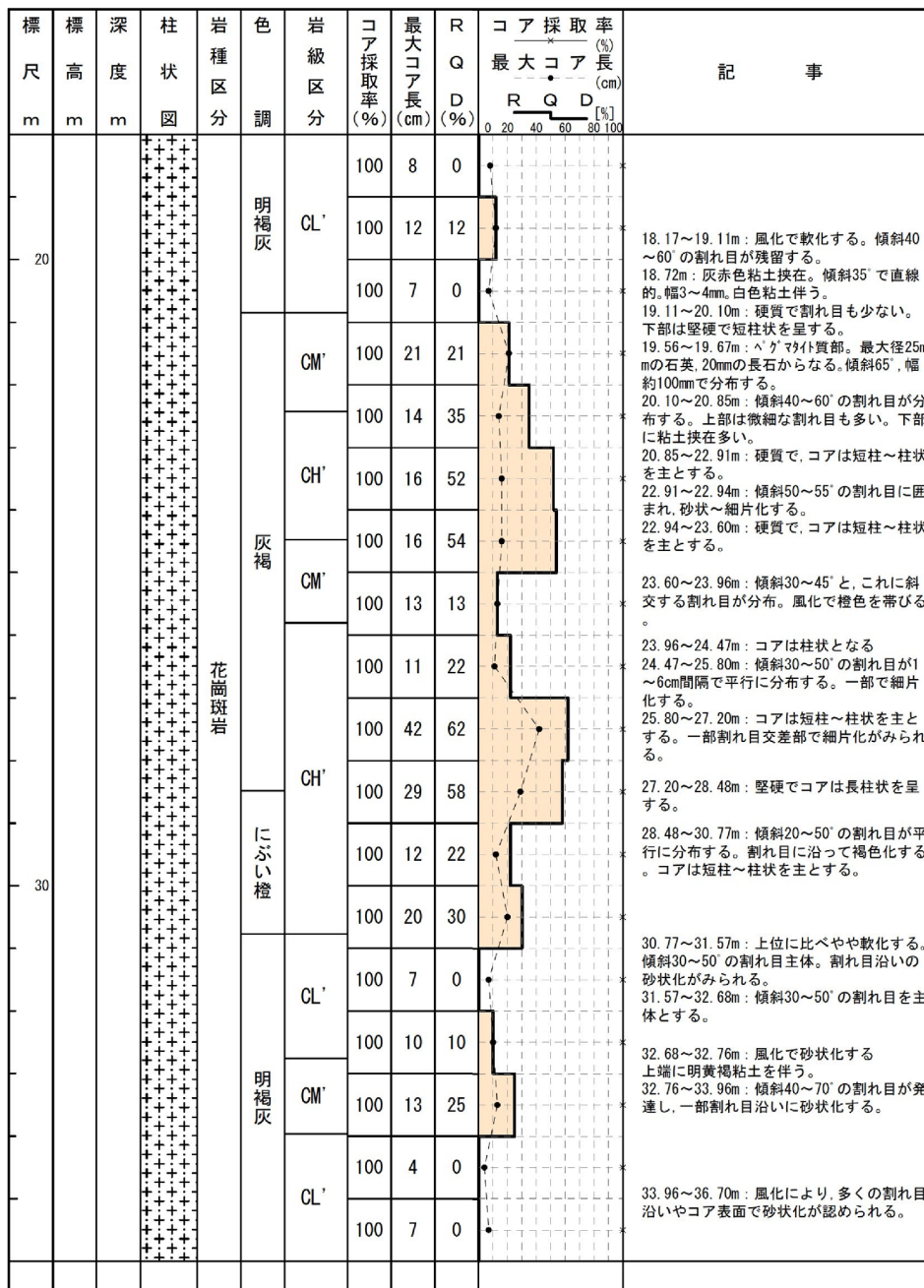
柱状図(0.00m~18.00m)

H24-D1-5

孔口標高	T.P.	7.03m	掘削長	54.00m
------	------	-------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	採取率 (%)	
		4.73		埋土	にぶい 黄褐		100					0.00~3.00m:粗砂 試掘の埋戻し土 径10~40mmの花崗斑岩岩片, コンクリート片などを含む。
		3.00						100				
		1.35		改良土	黄褐 灰黄褐		100					3.00~7.41m:改良土 砂礫からなる。 礫は径2~5mmの石英、長石、5~120mmの花崗 斑岩礫主体で、少量の花崗岩、砕石片を含む。 硬質礫主体の垂角~亜円礫で、一部半クサ リ礫を含む。 礫率30~40%程度。 基質は粗砂で比較的良好に締まる。
		7.41			にぶい 黄褐		100					
					にぶい 黄褐		100					
					にぶい 黄褐		100					
					にぶい 黄褐		100					
				花崗斑岩	にぶい 橙	D'	100	2	0			7.41~54.00m:花崗斑岩(Gp) 7.41~8.51m:著しく軟化する。 ●8.51~8.71m:破砕部 8.51~8.66m:粘土混り礫状破砕部(Hj)。 上端55'で直線的、下端50'で波打つ。網状 に粘土分布。 8.66~8.69m:礫質粘土状破砕部(Hb)。下端 60'でやや波打つ。幅25~30mm。 8.69~8.70m:粘土状破砕部(Hc-1) 下端60'でやや波打つ。幅3~8mm。明赤灰 色。 8.70~8.71m:礫質粘土状破砕部(Hb)。下端 65'で直線的。幅3~10mm。 8.71~10.19m:著しく軟化する。 ●10.19~10.21m:破砕部 10.19~10.20m:礫質粘土状破砕部(Hb)。 上端27'で直線的、下端36'で波打つ。幅6~ 10mm。 10.20~10.21m:粘土状破砕部(Hc-1)。下 端40'で直線的。幅4~6mm。灰白~にぶい 黄色。 10.21~10.45m:傾斜60~70'の割れ目が残 留し、多くに粘土脈を伴う 10.37m以深、岩組織は残留する。 ●10.45~10.50m:破砕部 10.45m:粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜30'で直 線的。幅1mm。白色。軟弱。 10.45~10.50m:礫質粘土状破砕部(Hb)。下 端40'で波打つ。幅40~55mm 10.51~14.19m:傾斜40~60'の割れ目が平 行に分布し、下部では斜交するものも多い。 交差部は砂状化。 14.19~17.14m:割れ目は50'以下主体で褐 色化する。 17.14~18.17m:傾斜30~50'の割れ目主体 で、一部で砂状~細片化。
							にぶい 黄橙		100	2	0	
					明褐 灰	CL'	100	5	0			
							100	5	0			
							100	11	11			
					褐 灰	CH'	100	4	0			
							100	14	48			
					明褐 灰	CL'	100	22	73			
							100	18	28			
							100	7	0			

柱状図(18.00m~36.00m)



柱状図(36.00m~54.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	最大 コア 長 (cm)	
40			+	花崗斑岩		明褐 灰	CL'	100	6	0		36.50~36.70m: 多くの割れ目で灰白色粘土を挟む。 36.70~38.73m: 傾斜50~70°と、斜交する20~40°の割れ目が分布。一部で径10~20mmに細片化する。 37.73m: 灰白色粘土挟在。傾斜65°, 幅1~2mm。周縁5mm前後が淡緑灰色化し、微細な金属鉱物が付着。 38.73~38.82m: 砂状化と幅1mm以下の粘土脈を多く伴い劣化する。 38.82~40.73m: 傾斜40~70°の割れ目を主体とする。 40.73~40.85m: 上端55°, 下端60°の割れ目に囲まれ砂状化する。幅2~3mmの灰白~灰赤色粘土脈を伴う 41.08~41.49m: 堅硬でコアは短柱状 42.23~42.74m: 傾斜50~60°で幅1mm前後の石英脈が多数分布する。 42.74~43.25m: 風化で割れ目は不明瞭となる。 43.25~45.09m: 風化・変質により著しく軟化する。幅1~3mmの灰白色粘土を脈状または網状に伴う。 45.09~45.82m: 傾斜30~50°の割れ目主体。割れ目沿いに砂状化する 45.82~45.89m: 粘土混り岩片状を呈する。灰白~灰黄色。 ●47.47~47.89m: 破砕部 47.47~47.48m: 粘土状破砕部(Hc-1)。上下端65°で直線的。幅3~6mm。灰褐色。少量の石英粒含む。 47.48~47.66m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下端は漸移的。幅67mm。径10mmまでの石英、粘土化岩片を含む。 47.66~47.86m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。下端63°で直線的。径10~40mmに岩片化し、岩片間は灰黄~灰白色に粘土化する。 47.86~47.89m: 礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。下端60°で直線的。幅15mm。径2~10mmの石英粒を含む。 48.30~49.50m: 傾斜40~60°の割れ目主体で、一部で20~30°のものが斜交。一部砂状化~細片化する。 52.75~54.00m: 堅硬でコアは短柱~柱状を主とする。傾斜20~60°の割れ目が分布する。
								100	6	0		
								100	5	0		
								100	4	0		
								100	11	11		
								100	10	10		
								100	13	13		
								100	2	0		
								100	1	0		
								100	3	0		
								100	4	0		
								100	4	0		
								100	3	0		
								100	7	0		
50			+	花崗斑岩		明褐 灰	CL'	100	10	10		
								100	10	10		
								100	19	29		
								100	12	24		

コア写真(00.00m~18.00m)



コア写真(18.00m~36.00m)



コア写真(36.00m~54.00m)

